

大竜巻・原発・そして「ゆうあい」

小川矩弘

茎身協の皆さんが、東北地方災害ボランティアに参加し、その活躍の様子をゆうあいニュースで聞きました。皆さんの明るく、元気な姿が目には浮びます。

実は私も北条大竜巻ボランティアに行きました。現地の様子は厳しいのひと言でした。家が根こそぎ吹き飛ばされ、残った壁にはカワラ、ガレキ等がぶつかった跡が無数にあり、あの壁がもし人間だったら、その人はどうなっているかと思ひ震えがきた程でした。

現地はすさまじすぎて、私などまったく役には立ちません。それで、あちらこちらの放射線量を測定したり、本部につめてガレキ処理要員手配係をやりました。ものすごい人数のボランティアが北条に集まり、市民パワーのすごさに驚嘆したり勇気をもらったりしました。

茎崎地区の放射線除染状況について少し書きたいと思います。

茎崎放射線対策の会は、線量の高い民有地の除染を要望するために、つくば市議会への請願署名に取り組みました。去年の8月から署名を始めたが、去年の夏はすつごく暑くて、皆さんの家を一軒一軒まわるのは本当にこたえました。8・9・10月と続けましたが、よく寝込まなかつたと思います。

集まった請願署名を議会へ提出し、環境経済委員会で審議されることになりました。私が会を代表して、委員の先生方に資料を配り、茎崎の汚染状況とその対策について報告をしました。

「毎時0.23マイクロシベルトの環境に生活すると一年に1ミリシーベルト以上の放射線を浴びることになり、健康被害を受ける可能性がある」と国際放射線防護委員会が決めた、日本の基準もそれに従っています。しかし、茎崎の被曝状況を調査してみると、防護委員会基準の居住環境と異なるため、毎時0.16マイクロシベルトの環境で一年に1ミリシー

ベルトを浴びる可能性が高いことが解りました。この様な茎崎の実体を委員会は理解され、請願は趣旨採択となりました。

この度、民有地の除染計画がまとまり、役場から通知が来たと思います。小さい子供さんがいるご家庭は役場に除染調査・作業希望書を提出し、線量が高かつたら、必ず除染してもらってください。原発事故は本当に恐ろしいです。原発がもう一度爆発したら日本は終りです。沈没です。

私の近況

東郷 正子

話が前後してゴメンナサイ。北条竜巻では道路の右側が無傷で、左側はメチャクチャなどという所がありました。人生の運・不運を強く感じました。

無農薬野菜園を経営し、東京方面に出荷している知人がいますが、放射能汚染の影響で、注文が減少し、農園は破産におこまれました。不運の一言につきると思います。お茶の葉・キノコ・柿にセシウムが多く含まれるという報告があり、測定してみるとたしかに同じ畑で栽培している白菜・ねぎ・麦などと比較して、お茶・キノコは

多くのセシウムを含有していました。栽培農家は大打撃です。人生の大不運です。そして、東電・政府はそういった農家への賠償にはとつても冷たく、不運は自己責任といわんばかりです。不運にあつた人々に暖かい手をさしのべるのが政治の本分でしょう。

網膜剥離で霞んだ目で遠くを見ながら「ゆうあい71号」のCDを聞き、少しのやすらぎを感じています。梅の便りが届くようになり、厳しかった寒さも春一番で春の気配が訪れ間近となりました。私は「ここから健康教室」に参加しています。介護予防で転倒と認知症防止です。内容は、3B体操・ゲーム・工作・ハンドベル・声を出す童謡と週一回です。童心に返り楽しみになりました。私は何度も転倒して、人工股関節置換手術をしており、体操しますと動き易く、体力



東郷さんの押し花「瓢箪」

が付くように感じられます。核家族の多い今日、一人暮らしのMさんはこの場が声を出す教室と語っていました。又、押し花教室に参加、花を摘み、和紙に挟み、三日位押し、色鮮やかに仕上げるのが難しいです。我が家の草花は私が押し花のためにと摘むせいか、花なしになつてしまいいく家族に笑われます。映画も楽しんでいきます。山田洋次監督作品「東京物語」は、誰にでも、どこにでもある家族が描かれていた。物語の後半は涙が出て、たまりませんでした。家族の絆を大切に仲良くして行きたいなあーと痛感しました。「レ・ミゼラブル」は愛と勇気・希望、世界が泣いた、永遠に語りつがれる物語で、ミュージカル映画に感動しました。出来るだけ外に出る機会を作り、楽しく過ごして参りたいです。